

## 「JR 東日本『のもの』アワード 2017」一次審査の結果について

- JR 東日本グループでは、「グループ経営構想 V ～限りなき前進～」の中で「地域に生きる」を一つのコンセプトとし、2009年に立ち上げた「地域再発見プロジェクト」の一環で地産品の販路拡大や6次産業化に向けたモノづくりに取り組んでいます。
- これまで連携を深めた地域の生産者・加工者等を対象に、エキナカ・駅ビル等で実施したモノづくりやコトづくりの優れた取組みに対する表彰として「JR 東日本『のもの』アワード」を創設しました。
- 「JR 東日本『のもの』アワード 2017」に対して多数ご応募いただいた中から一次審査を行いました。入賞者を下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 「JR 東日本『のもの』アワード」とは

JR 東日本グループが、2009年に「地域再発見プロジェクト」を立ち上げ、産直市、のもの、6次産業化、農業等の取組みを通じて連携を深めてきた地域の生産者や加工者等の皆さまへ感謝の意を表するとともに、更なる地域産業の活性化・交流人口の拡大を図るために創設しました。地域と連携し実施したモノづくり、コトづくりに対する賞が「JR 東日本『のもの』アワード」です。

#### 2. 「JR 東日本『のもの』アワード 2017」一次審査の結果について

入賞者は以下の7件です。

- ①青森りんごシリーズ（青森県）
  - ②仙台きなこシリーズ（宮城県）
  - ③会津フェア（福島県）
  - ④おやつTIMES「福島のセミドライもも」（福島県）
  - ⑤純米吟醸 佐渡千年の杉（新潟県）
  - ⑥甲州天空かぼちゃプロジェクト（山梨県）
  - ⑦信州アルクマそばシリーズ（長野県）
- ※（ ）内は地域事業者所在地

最終審査会および受賞発表会につきましては、  
入賞された対象の皆さまへ別途ご連絡させていただきます。

以上